

第15期 建設技術展示館 リニューアルオープン

12月2日(水)

入館無料!

第15期の展示のテーマは

「Society5.0を実現する新技術」

「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

2つのテーマを主体に、国、自治体、関係団体の取り組みを展示します。

リニューアルオープン式典 10:00～

建設技術展公開 11:00～

(公開は16:30まで)

※通常の開館は16:00までです

特別講演

(定員は50名 申込み先着順)

13:30～14:30 「災害現場や建設現場に活用されるロボット技術と今後の展望」

東京大学大学院工学系研究科 特任教授 永谷圭司 氏

【プロフィール】1990年 筑波大知能ロボット研究室に所属して以降、一貫してロボット研究に従事している。特に、2011年 東日本大震災以降、災害対応ロボットや無人建設機械を中心としたフィールドロボットに関する研究開発に従事。モットーは「役に立つロボット」。2012年 不整地移動探査ロボットに関する研究で競基弘(きそいもとひろ)賞学術業績賞。2018年 火山調査ロボットの研究開発で第8回ロボット大賞国土交通大臣賞を受賞。2019年 東京大学のi-Constructionシステム学寄付講座の特任教授。国土交通省ICT導入協議会建設施工におけるパワーアシストスーツ導入に関するWG委員、日本ロボット学会学会誌担当理事などを歴任。



15:00～16:00 「令和元年台風19号豪雨災害から学ぶ河川災害の特徴と課題」

群馬大学大学院理工学府 教授 清水義彦 氏

【プロフィール】1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士修了。京都大学・愛媛大学を経て、1991年群馬大学に着任。現在、群馬大学大学院理工学府教授。専門は河川工学。洪水による河川地形形成のメカニズム解明と河川植生の動態予測などを研究テーマとした利根川水系フィールドから河川管理に関する検討を国土交通省と共同で行っている。土木学会水工学委員会委員長、社会資本整備審議会専門委員、群馬県河川計画審査会会長などを歴任。



「土木学会CPDプログラム」、「全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム」認定予定

主催：国土交通省関東地方整備局

賛助：(一社) 関東地域づくり協会

お問い合わせ：建設技術展示館事務局 関東地方整備局 関東技術事務所技術課内

<http://www.kense-te.jp/>

TEL 047-394-6471

E-mail :kense-te@sweet.ocn.ne.jp